

総合型選抜 2024 年度過去問題 国際英語学科

I 日本語の意味を表すように、_____に適切な英語を入れ、英文を完成しなさい。

1. He has four sons. One lives in London and _____ in New York.
彼には 4 人の息子がいる。1 人はロンドンに、他はニューヨークに住んでいる。
2. The doctor _____ wait here.
医者には私にここで待つように言いました。
3. This room is _____ that one.
この部屋はあの部屋の 3 倍の大きさだ。
4. I heard _____ her name.
私はだれかが彼女の名前を呼ぶのを聞いた。
5. When I arrived at the station, _____ .
わたしが駅に着いたとき、列車はすでに出発していた。
6. _____ in front of many people.
わたしは大勢の人の前で話すことに慣れていない。
7. Colored clothes _____ separately.
色つきの衣類は、分けて洗わなければならない。
8. It is necessary _____ after each meal.
彼女は毎食後薬を飲む必要がある。
9. I don't remember _____ .
彼が何を言ったか覚えていません。
10. _____ I think living in the countryside is better than living in the city.
都会で暮らすより田舎で暮らす方がいいと思う理由はたくさんあります。

Ⅱ 次の文章を参考にして、「AI 時代における外国語学習」というトピックで 800 字以内の小論文を作成しなさい（字数には句読点も含む）。なお、次の文章の主張に必ずしも賛成して、小論文を執筆する必要はありません。

【前略】 AI による同時通訳も現れ始めています。2022 年段階では、翻訳スピードと訳文の精度にはまだ課題が見られるツールも多いのですが、時間の問題で解決されるでしょう。ディープラーニングによって極めて自然な同時通訳が可能になる世界は、もう間もなく訪れるだろうと思います。遠くない未来では、自分が普通に日本語で話した内容が、相手の言語にリアルタイムに通訳され、相手の言語もリアルタイムで日本語に通訳されるようになるでしょう。バーチャル空間ではごくごく自然にそうした会話になると思いますし、実空間でも、なんらかのデバイス（AR デバイスやイヤホン）を通じてそうした会話が実現するのだろうと思います。

そう考えると、英語を始めとした外国語学習は不要になるのかもしれませんが。個人的には、そういう時代になってもおかしくないと思います。必修科目として国民全員が英語を学ぶのではなく、選択科目の一つとして自分で選択した人だけが英語を学ぶという形式でもよいのかもしれませんが。

一方で、どんなにリアルタイムの翻訳・通訳テクノロジーが発達したとしても、第二言語学習自体はなくならないと思います。理由は 2 つあります。

1 つ目は、自分の発言には責任を持たなければならないからです。完全に翻訳・通訳デバイス頼みになり、自分の発言の翻訳を理解できないのであれば、自分の発言には責任が持てなくなってしまいます。

2 つ目は、言語学習は自己変革の契機になるからです。言語を学ぶという行為は、単に道具の使い方を学ぶだけに留まらず、異なる社会の価値観と意味の体系を学ぶことにも繋がっています。たとえば、私が英文を書いてネイティブの校正を受けると、多くの場合、動詞を中心としてより「強い」表現に修正されます。「こんなに強い表現でよいのだろうか？」とか「こんなに言い切ってしまうてよいのだろうか？」と逡巡^{しゆんじゆん}してしまうこともあるのですが、これは文化の差です。北米では、自分の意見をはっきりと強く打ち出して、相手に影響力を与えることは好ましく、日本人が「強い」と思う表現が北米では普通と感じられることが多々あります。

このことは、言葉が単に「通じる・通じない」という次元の話ではなく、生き方全般につながってくる話です。異なる言語を習得することは、極端な話、異なる生き方を習得することでもあります。

以上を考えると、テクノロジーがより発達する未来においても、仕事や学業で本格的に外国語を使う環境にある人は、これまで同様、言語習得トレーニングは行うことになるでしょう。【後略】

（出典：渡辺寧『AI 時代にそれでも英語を学ぶ意味と、役立つ 4 つのクラウドサービス』ホフステード・インサイト・ジャパン, 2022 年, 一部改変, <https://hofstede.jp/english-learning-and-cloud-service/>）